



ケーキなど、さまざまな梅商品が誕生しました。

「現 在、シンガポール伊勢丹で定期的に行っている催事販売でも開発した新商品を販売していきま

す。さらに、シンガポールの人気エリアであるリバーサイドに小売販売店と梅カフェを併設した自社店舗の出店も計画中です。



世界初となる海外での梅専門店として、「食べやすい梅製品なら松明創研社」と言われるようにブランディングを行うとともに、海外へ梅市場を広げることで、生産農家をはじめとする梅に関わる業界を活性化していきたいですね」



Q1 他社との差別化は？

A シンガポール伊勢丹各店での催事販売実績や流通業者との取引など、希少食材を扱う店として優位な状況にあります。現在、シンガポール国内の飲食店とも取引があり、梅製品を卸売販売しています。

Q2 シンガポールではどんな梅製品が好まれるのですか？

A 試作品の無料試食を行った結果、梅の酸味を抑え独特の風味のある梅スムージー・梅ジュースなどのスイーツが好評でした。

Q3 今後の展望は？

A シンガポールだけでなく諸外国にも開発した梅製品を展開して事業拡大を行います。

〈代表取締役〉
松山 等
まつやま ひとし

[座右の銘]
考えるより
感じる

CASE 09 食料品加工 (梅関連食材、農産物)・製造・販売
株式会社 松明創研社

〒881-0022 宮崎県西都市桜川町2丁目14番地 TEL 0983-32-0817



**海外へ広げて
業界を活性化**

株式会社 松明創研社



古くから日本で重宝されてきた梅を世界に発信するために、外国人にも食べやすいジュースやジャム、ゼリーなどの商品を開発しています

**外国人にも食べやすい梅商品で
梅の可能性を広げたい**

「シンガポールでは梅を食べる文化がないため、そのまま酸っぱすぎてなかなか受け入れてもらえません。そこで、梅の風味を活かしたスイーツやジュースなどの商品を開発することにしたんです。

そのためにまずクリアしなければならなかった課題が、梅の実の個体差や季節の変動による完熟具合の差をなくすことでした。その解決策として導入したのが、業務用冷蔵冷凍庫

です。

おいしい梅をつくるには、しっかりと完熟させるための追熟という工程が欠かせません。宮崎の農家さんから大量に仕入れる梅を、この冷凍冷蔵庫で温度と湿度を徹底管理して追熟させることで、安定しておいしい梅をつくることのできるようになりました」

完熟した梅は、種を取りピューレにして真空中で冷凍保存。このピューレを使って、スムージーやジュース、パン



梅製品の製造に欠かせない原料の梅はピューレに加工して真空パック保存しています。

「西 都市にある梅干し及び梅加工品の開発・小売業の株式会社松明創研社では、国内外を問わず各地催事場で梅製品の催事販売ほか店舗販売やインターネット通販も行っています。近年は、国内での催事販売業が伸び悩み一方で、シンガポールで試食販売を行ったところ手応えがあったといえます。

そこで、日本の伝統食である梅をシンガポールの人々に広めたいと考えました。

ものづくり補助金活用 ここがポイント



**業務用冷蔵冷凍庫・自動種取機で
梅製品の大量受注にも対応**

宮崎県産梅を冷蔵冷凍庫で追熟後、自動種取機を使って梅ピューレに加工。おいしさを保ったまま原料の保存と海外への輸出が可能となりました。



株式会社 デンタルセラミック井戸川

技術力 ナンバーワンを目指し 受注拡大に挑む

歯科医師の指示のもと、何度もやりとりを繰り返し一つずつ丁寧に手作業で製作する義歯。作業時間を短縮するため大型自動脱蠟機と自動充填・重合機を導入しました。

ものづくり補助金活用 ここがポイント



自動充填・重合機導入で
時間短縮と品質の向上を実現

石膏で作った義歯の型にレジンを流し入れる「充填」、圧をかけ加熱する「重合」を連続して自動で行えるので、製作時間の短縮と良質な義歯を作れるようになりました。

時間を生産力に変え、さらに レベルの高い技術を目指していきたい

患

患者さんのことを第一に、どれだけ違和感なく自然なものを作れるかを一番のポイントとして義歯や差し歯などの製作を行う同社。患者さん個々の口に合った義歯を作るためには細かな手作業が必要で、一組が完成するまで多くの時間を要していました。

そ

ここで大型自動脱蠟機と自動充填・重合機を導入。仮で作った義歯の歯肉部分です。これらをどうにか機械化することで短縮できないかと思っていました。どうしても最初から最後まで人がつきっきりで作業をしないとダメな状況があり、作業効率が非常に悪いという問題がありました。

に使っているワックスを溶かし「レジン」を流し入れ、加圧・加熱する一連の作業を機械化しました。作業効率の改善はもちろんのこと、ヒューマンエラーが少なくなり、経験の浅い従業員でも精度の高い義歯を作れるようになりました。「一番のメリットは、三つの義歯が一度にできるとのこと。ボタンひとつで機械が全

て作業をしてくれず。従業員にも余裕ができたので、空いた時間で他の作業ができるようになりました。品質のバラつきもほとんどなくなりました。品質が向上した上に短時間で納品できるようになったことで、医師にも患者さんにも喜んでいただいていると思います」



本物の歯と見分けがつかないセラミックの義歯。

Q1 どのくらい作業時間が短縮されたのですか？

A 2時間要した作業は半分の1時間でできるようになり、受注してから患者さんに早く納品できるようになりました。

Q2 力を入れている取り組みは？

A 将来の歯科医療を担う人材育成を強化しています。「歯科医師に信頼されて期待に応えていきたい」と、若手スタッフは意欲とやりがいをもって技術を磨いています。

Q3 今後の展望は？

A 機械を導入したことで有効に使える時間ができました。さらに個々の技術を磨いてどこにも負けないような製品を作りたいと思っています。

さ

さらに、手作業では加工できなかった新素材で義歯を製作することも可能となりました。「これまで使用していたレジンは、衝撃に弱く吸水性が大きく変色しやすいのが欠点でした。しかし、熱可塑性レジンは吸水性が低いため変色が起こりにくく、臭いも付きにくいんです。これからは患者さんに喜んでもらえるよう高度な技術を身につけたいですね」



〈代表取締役〉
井戸川 義輝
いどがわ よしてる

[座右の銘]
途中困難
最後必勝



Case 10 歯科技工物の製作
株式会社 デンタルセラミック井戸川

〒880-0041 宮崎県宮崎市池内町小鹿黒3562番地2
TEL 0985-39-5337

2時間の作業が わずか1〜2分 現場に革命を もたらした新設備



木材の魅力を最大限活かした高品質の家具を製造する
同社。生産にかかる時間のために諦めざるを得なかった
大手家具卸店からの引き合いに対応できるよう、画期的
な機械を導入しました。

ものづくり補助金活用 ここがポイント



作業効率を格段に向上させた 高周波板はぎ接着機

1〜2時間掛かっていた天板を作る「板はぎ」
の作業が1〜2分に短縮。それまで断らざるを
得なかった、全国大手からの引き合いにも対応
できる生産体制が整いました。

3年後には約2倍の 売上げを見込んでいます

1 00年、200年と
使い育てる一生ものの
家具を作り続ける橋詰家具。
数ある商品の中でも、木材本
来の肌触りと香りが残る学習
デスクは、多くの引き合いが
ある人気の商品です。しかし、
そのこだわりゆえ、製作工程
に時間が掛かってしまうこと
から、受注機会を逃してしま
うことがしばしばありました。

「机の命である天板を作る
には、3〜4枚の板を接着し
て貼り合わせる「板はぎ」と
いう作業が必要なのですが、
これまでは、この作業にどう
しても1〜2時間は掛かって
いました。
この時間は机を量産するに
はかなりのネックとなり、繁
忙時には生産が追い付かず、
せっかくの引き合いをお断り

しなければならぬ状況が続
いていました」
こ だわりの机をたくさ
んの人に使ってもら
うには、板はぎの作業時間を
短縮するしかない。そう判断
した同社は、高周波板はぎ接
着機を導入します。
「これまでの機械は、接着
剤を塗布後、外から低温で加

熱していたためにかなりの時
間がかかっていたのですが、
新しい機械は電子レンジのよ
うに内部から高温加熱するの
で、わずか1〜2分で板はぎ
が完了するんです。しかも、
私たちが一番大切に行っている
品質はそのままにこの機械に
よってもたらされた作業効率
の向上は、革命と言っても過
言ではありません」



高周波板はぎ接着機は
机の脚の枠組みにも使
われています。

Q1 橋詰さんの家具のこだわりは？

A 末永く、いつまでも一緒に暮らしていけるよ
うな質の高い家具。子どもや孫が受け継いでいける
家具こそが本物の家具だと考え、一生ものの家具
づくりを行っています。

Q2 県産材にこだわっている ということですが。

A 県産材の中でも楠にこだわっています。楠は
昔から天然の防虫剤と言われてるように衣服
の収納に最適なんです。県産材の需要拡大にも
貢献したいですね。

Q3 今後の展望は？

A 高品質の家具を求められる大手の家具卸店
や小売店と取り引きできる生産体制が整いま
した。3年後には約2倍の売上げを挙げられる
よう、今後は営業体制も強化していきます。

市

場にあふれる中国や東南
アジア産の低価格の家
具。同社では、それらの家具と
品質において明確な差別化を図
ることで、良いものを求める顧
客ニーズを開拓し、新たな需要
を見込んでいます。

「取引先の多くが、日本製で
高品質な商品を販売したい、と
いう思いを持たれています。高
周波板はぎ接着機によって、そ
のようなお客様の声に確実に応
えられる商品を、安定して供給

できるようにになりました。これ
からは、さらに他の工程の見直
しなども行い、質の高い商品を
どんどん全国に届けていきたい
ですね」



〈代表取締役社長〉
橋詰 和弘
はしづめ かずひろ
[座右の銘]
自利利他



Case 11 家具製造・販売 株式会社 橋詰家具

〒885-0055 宮崎県都城市早鈴町2042-3 TEL 0986-22-6312

ヒ ーテックが主に熱処理加工を手掛けている自動車部品。強度が求められる部品のほとんどは鉄鋼でできており、既存の設備で対応することが可能でした。

ところが、近年、自動車に軽量化や高級感が求められるようになると、外観部品などの多くにアルミ合金が使われるようになりまし。アルミ合金の熱処理となると、既存の設備では、納期的にもコスト的にも対応することができませんでした。

「アルミ合金を機能部品として使用する場合、鉄鋼と同様に熱処理加工を行って強度を増す必要があります。」

ただ、アルミ合金は鉄鋼材料と比べて熱処理にかかる時間がとても長く、お客様が必要とする1か月分の部品を加工するのに、既存の設備では110〜120日も必要でした。これではとてもお客様の要求を満たすことはできません」

そ こで新たに溶体化炉を一機導入。既存の

株式会社 ヒーテック

熱処理加工技術で軽量化ニーズに応える

自動車部品を中心に金属熱処理加工を行うヒーテック。これまでは鉄鋼材料の加工がほとんどでしたが、近年、部品の軽量化が求められるのに伴い、軽くて強いアルミ合金の加工が増えてきました。



溶体化炉と並列で運転を始めた。

「溶体化炉では、アルミ合金を400〜500℃で一定時間保持することで金属組織を均一化します。その後、水で急激に冷却し、金属組織を固定させることで強度を高めます。この処理には、これまで43日かかっていたのですが、新たな溶体化炉のおかげで12日に短縮できました。」

溶体化炉で処理した後は、さらに強さを高めるために時効という処理を行うのです

ものづくり補助金活用 ここがポイント



より多くの材料を処理できる大型溶体化炉

新しい人工時効炉と合わせて処理能力がこれまでの5倍になったことで、1か月以内に納品という、お客様のニーズに応えられるようになりました。

合わせて導入した人工時効炉。既設の人工時効炉の6倍の処理能力があります。



Q1 熱処理加工にはどのような効果があるのですか？

A 金属材料を加熱・冷却することで、形を変えずに強さや硬さ、粘りなどの性質を向上させます。自動車部品の場合は、強さを増すために熱処理加工を行います。

Q2 設備を導入したことで変わったことは？

A お客様の信頼を得られたことが大きいですね。おかげさまで新たなお客様からの引き合いもありますし、今までなかった仕事を受注でき、現場も活気づきました。

Q3 今後の展望は？

A 今後はさらなる部品の軽量化が求められるでしょう。これまで培ってきた確かな技術で時代のニーズに応えるとともに、農機具や産業機械、航空機など新分野にチャレンジしていきたいですね。

「**新** たな設備の導入により、顧客のニーズに応えることができるようになりました。九州管内にはアルミの熱処理を行っている企業は数社しかなく、軽量化ニーズは今後も高まるでしょう。これを大きなビジネスチャンスと捉えて積極的に営業展開を行っていきたくですね」

が、ここにも大型の人工時効炉を導入したことで、120日かかっていた全行程を24日までに短縮することができました」

〈取締役工場長〉
石松 誉至
いしまつ たかし
[座右の銘]
愛と光りと忍耐



Case 12 金属熱処理 株式会社 ヒーテック

〒889-1403 宮崎県児湯郡新富町大字上富田字井ノ前2370
TEL 0983-33-5313

